

# ● 看護部教育計画 2011 <目標およびプログラム> ●

目的：看護職一人ひとりの人間としての成長と、専門職業人としての能力開発をめざし教育することで、看護部理念にそった質の高い看護を実践する。

	めやす	期待すること	リーダー項目別到達目標	プログラム
レベル I	実務経験 1年～2年	<p>1年目 ★ケアの視点を共有する（看護とは何かを学習する） まず分からないことが聞け、実施したことが報告できる行動を期待されている。業務の流れをつかんだら、現場の状況に合わせて指示された事柄を理解できるように、ケアに必要な知識と技術を身につけよう。</p> <p>2年目 ★ケアの視点を共有する（看護とは何かを明確にする） 日常業務にも慣れ少しゆとりが出てくる頃である。後輩を迎えるにあたり、学んできたことを整理しておこう。専門家としての接遇技術を身につけよう。</p>	<p>看護実践的：①日常生活援助のための基本的知識、技術、態度を身につけベッドサイドケアが、安全確実に実施できる ②担当患者のケアを通して看護の知識・技術を深められる</p> <p>管理的側面：チームメンバーの役割と責任を果たすことができる。</p> <p>教育的側面：院内研修、看護実践を通して、看護とは何かを明確にする</p> <p>研究的側面：研究活動に参加する</p>	<p>新採用総合オリエンテーション 救急蘇生法・医療安全研修 ナイチンゲール看護論KOMI 基本コース①②③④</p> <p>人権推進研修①② 褥瘡ケア・ストーマケア学習会 6ヶ月目研修 ナイチンゲール看護論KOMI 実践コース①</p>
レベル II	実務経験 3年～4年	<p>★判断力が身につく、状況に応じたリーダーシップが発揮できる。</p> <p>★ケアの視点を実践に生かす。</p> <p>専門領域での技術獲得に関して、日常業務を通して研究的態度で臨む姿勢が必要とされる。自己の課題を整理し、自主的に努力していく時期である。また、先輩として後輩に指導することにより、自己啓発していこう。</p>	<p>看護実践的：①看護過程をふまえた個別的ケアが実施できる ②理論的知識と臨床情報の関係づけができる</p> <p>管理的側面：①リーダー・受持ち看護師の役割と責任を果たすことができる ②状況に応じたリーダーシップが発揮できる</p> <p>教育的側面：ケアの視点を実践の場に生かすことができる</p> <p>研究的側面：課題に研究的に取り組み看護実践を振り返ることができる</p>	<p>ナイチンゲール看護論KOMI 実践コース②</p> <p>ナイチンゲール看護論KOMI 実践コース③</p> <p>人権推進研修③ プリセプター研修</p>
レベル III	実務経験 5年～9年	<p>★職場のリーダーとして、後輩の育成ができる。</p> <p>★日々の実践をケアの視点で点検することができる。</p> <p>ケアの根拠に基づいた実践ができ、先輩として積極的にチームを指導していく時期である。現場では後輩育成の中心的存在になり、技術的に安定した活躍が期待されている。</p>	<p>看護実践的：専門領域における看護実践の役割モデルになれる</p> <p>管理的側面：①医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる ②あらゆる場面でのリーダーシップが発揮できる</p> <p>教育的側面：後輩および看護学生に対して指導的に関われる</p> <p>研究的側面：看護研究・研修を通して看護実践・専門看護を深めることができる</p>	<p>ナイチンゲール看護論KOMI 実践コース④</p> <p>看護協会主催 リーダー研修</p>
レベル IV	実務経験 10年以上	<p>★課題達成に対して、チームの看護力を高め維持していく推進力となる。</p> <p>★ナイチンゲール看護論を基盤にしたKOMI理論を使って、実践の場で、理論的かつ説得力のある指導ができる。</p> <p>生き生きとした職場造りは先輩の姿勢を反映する。現場の問題を「仕方ない」で終わらせず、後輩の意見を取り上げ、他者を巻き込んで改善していく姿勢が求められる。また、職場内にとどまらず、院内全体の改善に目を向けられるようになる。</p>	<p>看護実践的：①課題達成に対して柔軟な対応ができ、看護の質を高め維持していく推進力となる ②KOMI理論をいかして、看護場面における理論的かつ説得力のある指導ができる</p> <p>管理的側面：部署における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動が取れる</p> <p>教育的側面：部署における教育的役割がとれる</p> <p>研究的側面：管理・専門看護分野における研究開発を行い、変革の推進者となれる</p>	<p>看護覚え書コース</p> <p>ナイチンゲールKOMIケア学会主催 セミナー</p>
	通年	<p>☆ 専門職業人としての役割と責任を自覚し、安全で確実な技術を身につけていく。</p> <p>☆ 医療の動向を知り、専門職として知識を深めると共に、教養を身につけ視野を広げる。</p>		<p>役割研修：各リンクナース 人権推進委員 教育委員 業務検討委員 外来看護 看護管理者</p>